

臨床研究
「右上葉切除後の中葉気管支屈曲のリスク因子の検討」
について

筑波大学附属病院呼吸器外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の概要

背景：呼吸器外科領域の手術の中心となる術式は肺切除です。肺切除後は胸腔の大きさが肋骨により一定に決まっていることから、肺切除後にできたスペースは残存肺や縦隔、横隔膜の偏位と胸水貯留により埋められます。この偏位により術後に残存肺の気管支屈曲や無気肺を起こすことがあり、術後の肺機能低下や感染の原因になり得ます。術後の気管支屈曲についてのリスク因子の報告は少なく、さらに予防法に関しては未だ提言されていません。

目的：右上葉切除後の中葉気管支屈曲症例を解析し、リスク因子を抽出し予防法を考察します。

対象：2011年-2018年に当科で右上葉切除を施行された患者様です。

方法：①当科で右上葉切除を施行された患者様の背景因子（年齢，性別，術式，喫煙歴，肺機能等）をRetrospectiveに抽出します。②術前後のレントゲン，CT，さらにはThin-section CTから3D-CT reconstruction softwareであるSynapse Vincentを用いて、肺3D画像を再構築し、解剖学的特徴を抽出します。③正常群と屈曲群に分けて、上記因子を解析し、リスク因子を評価します。

研究機関：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

② 保有する個人情報の保護

本研究に関して、治療を受ける患者様の個人情報は保護され、人権は擁護されます。この臨床研究に際して得られた診療上の情報や個人情報は守られます。また、個人を識別する情報をこの臨床研究の報告や発表に使用することはありません。この研究は、筑波大学倫理審査委員会で審査され、個人情報及び人権が守られることが確認された研究です。ご協力によって得られて結果は、個人情報が保護された形で、学会や学術雑誌、データベース上などで公に公表されることがあります。

試料・情報の管理について責任を有するもの：佐藤 幸夫(呼吸器外科・教授)

③ 本研究に対するお問い合わせ先

本研究について何かお知りになりたいことや、疑問な点がありましたら、担当医師に遠慮なくおたずねください。

本試験の責任医師：柳原 隆宏（呼吸器外科・医師）

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-7991（医局、平日9：00－17：00）

029-853-3110（上記以外の時間帯）

※担当医師または呼吸器外科の医師を呼び出してください。